



2021年2月19日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 ア ク ア ラ イ ン  
代表者の役職・氏名 代表取締役社長 大 垣 内 剛  
(コード番号：6173 東証マザーズ)  
問 合 せ 先 財務・経理部長 平 野 真 生  
(TEL. 03-6758-5588)

### 業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、2020年7月14日に公表しました2021年2月期（2020年3月1日～2021年2月28日）の連結業績予想について、下記のとおりとしましたのでお知らせいたします。

#### 記

#### 1. 業績予想の修正について

2021年2月期 通期連結業績予想数値の修正（2020年3月1日～2021年2月28日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 6,286	百万円 △150	百万円 △159	百万円 △171	円 銭 △85.07
今回発表業績(B)	6,035	△418	△413	△339	△168.66
増減額(B-A)	△251	△267	△254	△168	
増減率(%)	△4.0	—	—	—	
(ご参考)前期実績 (2020年2月期)	6,008	△17	△18	△34	△17.20

#### 2. 業績予想修正の理由

2020年7月14日付で公表いたしました通期の業績予想は、新型コロナウイルス感染症の拡大状況が現状以上に悪化せず、消費動向は徐々に回復の方向に進みながらも、今期中は影響が残ることを前提としておりました。

売上高につきましては、広告メディア事業、ミネラルウォーター事業及びヘルスケア事業はそれぞれ概ね計画どおりの見込みです。一方、水まわり緊急修理サービス事業におきましては、入電数は当初計画から微増の見込みです。しかしながら、新型コロナウイルス感染症の拡大による中途採用の売り手市場の弱まりを受け、来期以降を見据え現場サービススタッフの採用を当初計画から拡大させ2020年8月から期末にかけて約50名純増の見込みであり、新人スタッフの増加に伴い生産性・効率性が低下し想定よりも施工単価が約1,000円、受注率が約5%低下したことから、当初計画から下回る見通しとなりました。

営業利益、経常利益及び親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、上記の売上高減少の要因に加えて、採用活動拡大に伴う採用・教育に係る費用が想定よりも4倍程度増加したこと等から、当初計画から下回る見通しとなりました。

以上